

2023年12月9日



報道関係者各位

こども防災協会

手作りいかだで浮かんでみよう
【なみのぼうけん】を開催しました！

2023年8月12日(土)~8月13日(日)【淡路青少年交流の家】

「こども防災協会」は小学生と留学生ボランティアの方々と一緒に、8月12日~13日に"いざという時、生きのびる(72時間)こどもを増やすこと"・"さまざまな国の文化や習慣に触れ、共生の感覚を持つこどもを育てること"を目的として、「なみのぼうけん」を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環で実施しています。



イベント概要

イベント名: ネイチャーぼうけん&防災キャンプ【なみのぼうけん】

日程: 2023年8月12日(土)~8月13日(日)

場所: 淡路青少年交流の家

参加人数: 合計60名

参加者内訳: こども45名(小学生、内 被災経験 1名) / ボランティア22名 / スタッフ3名 / バス運転手2名

ボランティア出身国: 全14カ国(韓国・フィリピン・インドネシア・ベトナム・インド・スリランカ・タイ・日本・ブラジル・ラオス・ネパール・ベトナム・シリア・モロッコ)

てづくりいかだ

キャンプの持ちものに「浮きそうなもの」と指定し、各自ペットボトルやポリタンク、牛乳パックを持参しました。水に浮く仕組みを学習したあと、各6~7人のチームに分かれ、それぞれ持ち寄ったものを組み合わせていきます。それぞれボランティアのガイドのもとで、大きなオリジナルのいかだが完成！力を合わせて海まで運び、全チームのいかだが無事に海上に。でも上に乗るのは1人ずつ慎重に試していきます。2人一緒に乗れただけでも、こどもたちは大喜びしていました。身近なものを使って水に浮くことを学び、いざという時に溺れないスキルを身につけてくれました。



生理食塩水をつくろう！

傷口の殺菌などに適している生理食塩水。災害時にそれが必要なタイミングや、簡単な作り方を学びました。まずはクロスワードゲームを進めていきながら、生理食塩水をつくるために必要な材料名や作り方を理解していき、全て埋まるとスタッフのもとへ。生理食塩水を作るための材料を受け取り、実際に混ぜて作ってみます。水と食塩をよく混ぜて、実際に試飲。「なにこれー」「あんまり味がしない？」と言いながら恐る恐る口にしていました。



参加した子ども・保護者からの声

<団体概要>

団体名称 : こども防災協会

URL : <http://kodomo-bousai.net/>

活動内容 : 防災に役立つ判断力と行動力を学べる「こども防災キャンプ」を実施しています。キャンプには、留学生ボランティアも多数参加。さまざまな国の文化や習慣に触れながら、災害に関わる英語も一緒に学ぶことができます。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名: こども防災協会

担当者名: 鹿島 美織

電話: 090-6684-9696

メールアドレス: volunteer@kodomo-bousai.net